



森の息吹

No.152 12月号
2018.11月22日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

11月の活動 「協働の森」学習会・山田氏の林道整備・備品チェック

11月4日(日)「弁華別協働の森」学習会(第2弾) 参加者 7名

前月の続きとして学習会を行いました

今回は「木の食べ物」と題して笹氏よりの講義をお聞きしました。

人間と違い樹木は動かないで生きる方向を目指しました。

すなわち、あまりエネルギーを使わない生き方を選択しました。

もちろんマイナス面として一度根を張ったらその土地に適応した生き方を余儀なくされるという現実があります。

動かない樹木は葉から二酸化炭素を取り入れ、同時に根から水分を

取り入れます。そして、太陽光をエネルギーとして炭水化物を作りだし、酸素を放出します。

これが光合成です。また休みなく呼吸もしていますので、こちらは逆に酸素を取り入れて二酸化炭素を放出しています。地球の自然環境に大きくかかわっている木々たちの話は奥が深いです。

11月11日(日) 山田山林で倒木の撤去と備品整備とチェック 天候曇り 参加者 7名

今年の台風による強風で山田さんの山にも被害が及んでいました。

林道に多くの木が倒れその道を塞いでいる状況がみられましたので今年最後の外活動として山田山林の倒木の撤去を行いました。

軽トラック2台に分乗し山林を駆け上がりながら行く手を阻む倒木をチェーンソーで伐木していきます。そして、枝も打ち払い、林道脇に並べていきます。伐木の長さは決められているようです。

径の太い倒木もありチェーンソー以外に倒木などを処理する道具も

駆使しながら非常にやりがいのある作業となりました。

なにより危険を伴う作業なので安全に行えたことが1番でした。

終了後は山田倉庫にて久しぶりにみんなで昼食を囲み桜田氏からのラクヨウのきのこ汁に舌鼓を打ち談笑しました。

午後からは備品のチェックとチェーンソー、刈払い機の整備を行い解散しました

雨が強くなり予定をしていたシイタケのほだ木の天地返しは取りやめました。

機会があれば・・・



編集者より

先日、札幌でようやく初雪が降りました。初雪としては128年ぶりの遅さだそうです。

にわか北海道人としては今年も笑顔で厳冬期を迎える覚悟でございます。

忘年会では今年の活動を振り返り、来年度の抱負を大いに語りあいましょう。



先日、ダッチオープンなるものを手に入れた。

鍋径が約 30.5 cm×深さ 13cm、鉄板厚 4.5mm、重さが約 8.8kg もある。

屋外での飲み食いを好む者には備えておきたいアイテムの一つかも。

かなり以前からいつかは、と思っていた。

買う気になったきっかけは、今年の夏の「シラカンバ」の炭焼き時、あの時、Kさんが自作のエコストーブでの燃焼テストを行い、ダッチオープンの中に小石を敷きサツマイモとニンニクの直焼きに挑戦、その味が実に美味しかったのでにわかに欲しくなり、買う羽目となった。

使用法はとっても簡単で、鍋に食材を入れて

火にかけておくだけでおいしい料理ができるというシロモノ・・・！？

焼く、煮る、燻す、炒める、茹でる、炊く、蒸す、揚げる等々一台で何役もこなせる

万能鍋だけに、主にアウトドア料理に使われ、知る人ぞ知る優れものである。

今では野外だけでなく家庭のキッチンにおいてもその魅力は変わりなく重宝されているとか・・・！見た目は単なる肉厚の鉄鍋であるが、蓋が分厚く、蓋と鍋の隙間を埋め密閉状態になる構造となっている。

これに食材を入れ、熱を加えると内部の気圧が高くなり**圧力鍋**と同じ状態になるのだそう。ただ、鍋そのものが重いのと鉄製のため、日常の手入れが大変なような気がするが・・・。



さてその料理の中身である、添付のクッキングレシピを見るとどれもが豪快で実に美味しそうに見える。だが、今やシーズンオフ自然のもと(野外)での使用は最早無理、

冬の間は小屋の中にある石油ストーブの上で、石焼き芋などハードルの低いものから手がけ、春までの間、じっくりとレシピ集を研究しレパートリーを広めていこうかと思っている。

雪が消え始めたら、裏庭にある河原で拾い集めた石で組んだ野外炉での使用を試みダッチオープンでのレシピに本格的に挑み、それまでの生活リズムをリセット冬バージョンから夏バージョンに切り替えるのを楽しみにしている。(・∀・)

12月の活動案内

12月1日(土)

内容 今年度の反省会と来年度の活動の向けての意見交換会兼**忘年会**

集合場所 スターライト会館 当別町太美スターライト1512-26

集合時間 12:00 **昼食をご用意します**

※必ず参加の有無を11月28日までに班長まで連絡してください

当日、忘年会費を徴収いたします。

また、飲酒される方は車の運転はご遠慮下さい

